

《原著》

がんに罹患した学童期の子どもに対する担任教員の復学支援
—退院時院内調整会議後から復学前日までの
担任教員の思いと支援を検討した2事例—

加藤 千明¹⁾, 大見 サキエ²⁾

¹⁾ 梶山女学園大学看護学部, ²⁾ 天理医療大学

要 旨

【目的】がんに罹患した子どもの調整会議に参加した担任教員が、会議参加後から復学前日までに抱いた思いと支援内容を明らかにする。【方法】担任教員2名に面接調査した。【結果および考察】教員は会議参加後から復学前日までに、復学準備への使命感や不安などの思いを抱いていた。会議は担任教員の支援前の不安を軽減し、具体的準備につながる場合と、復学支援への不安をもたらす場合があることが明らかになった。更に担任教員は、会議で調整された内容を基に、創意工夫を加え支援に向け努力していることがわかった。

キーワード：がんの子ども, 復学支援, 担任教員